こんにちは、
日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会☎ 353-6311 自宅☎（F 兼）691-3323 （携帯） 090-7880-9442
日本共産党京都市会議員団 ☎２２２－３７２８ FAX ２１１－２１３０
市会議員団ホームページ http://cpgkyoto.jp/ E-mail info@cpgkyoto.jp ２０２２年９月４日

府民の命と健康を守れ

コロナ対策の緩和か、医療機関へのしわ寄せか

医療・保健の提供体制拡充こそ

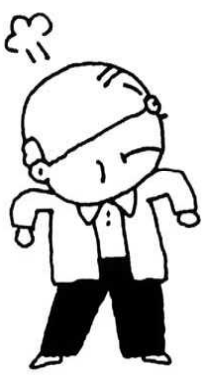
保険料の値下げ、減免制度の改善を

窓口負担の値上げ方針は撤回せよ

＝後期高齢者医療広域連合議会＝

８月26日、京都府後期高齢者医療広域連合議会が開かれました。井上議員は、コロナから被保険者の命と健康を守れ、保険料の引き下げを、減免制度の拡充を、10月からの窓口負担２割への値上げをやめよ、等々と訴え、質問、また、府民から提出された請願書を紹介しました（写真）。

特に、陽性者が急増、医療機関や保健所の仕事が超過密になっていることから、国が、軽度の患者への対策を緩めようとしていることを批判しました。「国が、自分たちが削ってきた医療・保健の体制を前提として、その範囲内で対応しようとするから、病院等にムリを押し付けない為には患者にもガマンしてもらおうかと、そういう二者択一の問題の立て方が問題。医療・保健の拡大充実がカギ」と指摘、見解を問いました。連合長は「コロナ対策は大変むずかしい。ワクチンが大事」などと全く噛み合わない答弁でした。



「陽性になってしんどいが自宅待機と言われた。保健所への電話が全然繋がらない」などとの声が、井上議員にも寄せられています。医師・看護師の増員や保健所の各行政区への復活が求められます。医療機能を備えた入院待機施設の確保・稼働・活用等々、緊急の対策が求められています。

敬老乗車証改悪中止をと市民が署名提出（8/２９）

電話相談会開催

８月24日、京都社会保障推進協議会の主催で市民電話相談会を開催。井上議員も相談員の一員として待機、かかってきたご相談の電話に対応しました。

最近の相談から市民の声

◎ヘルスピア廃止方針の撤回を求めたい。再検討して下さい。近隣施設は、入会金や会費が高くて払えない。

◎公園の草がボウボウだ。

◎日本もすっかり後進国になってしまいましたね。人心が荒廃しているというか、政治が原因なんでしょうね。

◎営業用の冷蔵庫を買ったが府の補助金の対象になりますか？

後期高齢者医療保険とは、７５歳以上対象の強制加入の保険で、広域連合はそれを運営する団体です。都道府県毎に、その府県内の各市町村で構成されます。首長である連合長は、その市町村の長の中から選ばれ（京都は現在、八幡市長が連合長）、議員は各市町村議会から選ばれます（議会内での選挙で、住民には選挙権・被選挙権はありません）。京都府では、２６の自治体のうち、宇治市２人、京都市４人（現在、共・自・公・民から各１人）、他は各１人、計３０人の議員がおり、年２回（夏に前年度決算、２月に翌年度予算が議題）、議会が開かれています。府民からの請願なども、市議会等と同様、可能です。